

事業者温室効果ガス削減報告書概要（第二計画期間） 第 2 年度分

1 事業所の概要

事業者の名称	日本たばこ産業株式会社		
事業所の名称	日本たばこ産業株式会社 宮城支社		
事業所の所在地	宮城県仙台市宮城野区榴岡4-2-8 仙台MTビルEAST 9F		
主たる事業	飲食料品卸売業		
事業者の該当要件		条例第2条第5号イに該当する特定事業者	
		条例第2条第5号ロに該当する特定事業者	
		条例第2条第5号ハに該当する特定事業者	
	○	条例第15条第1項に該当する一般事業者	

2 温室効果ガスの排出状況等

温室効果ガスの削減目標	基準年度	2022 年度	基準排出量	123.3 t-CO <sub>2</sub>	基準原単位	0.03021
	目標年度	2025 年度	目標排出量	117.1 t-CO <sub>2</sub>	目標原単位	0.0286995
			削減率	4.99 %	削減率	5.00 %
			非化石電気	%	その他非化石エネルギー等	%
温室効果ガスの排出状況	第1年度	2023 年度	排出量	129.4 t-CO <sub>2</sub>	排出原単位	0.03171
			削減率	-4.95 %	削減率	-4.97 %
			非化石電気	0.00 %	その他非化石エネルギー等	0.00 %
	排出量等の増減理由	①コロナ渦の在宅勤務中心の働き方から、出社勤務中心へとシフトしたため事務所での消費エネルギーが増えたことによる増 ②2023年度は猛暑であったため、エアコンの稼働率が増加したことによる増				
	第2年度	2024 年度	排出量	98.9 t-CO <sub>2</sub>	排出原単位	0.02423
			削減率	19.78 %	削減率	19.79 %
			非化石電気	6.77 %	その他非化石エネルギー等	0.00 %
	排出量等の増減理由	①ガス：エアコンの設定温度管理や事務所の扉を閉めて暖気を逃がさない等の実施及び啓発POPを活用、エアコンの使用が抑えられ減少 ②ガソリン：日々の業務効率化とエコドライブ啓発により減少 ③電力：昼休憩時に事務所を消灯、エアコンのロスナイ停止等を実施及び啓発POPを活用				
	第3年度	2025 年度	排出量	t-CO <sub>2</sub>	排出原単位	
			削減率	%	削減率	%
			非化石電気	%	その他非化石エネルギー等	%
	排出量等の増減理由					

3 温室効果ガスの排出抑制に関する取組

基本対策の実施状況	基準年度	62 %	目標年度	100 %
	第1年度	77 %	実施状況の説明等	・節電のため、空調切り替え時十分な換気、湿度（40%以上）が担保されていることを確認のうえロスナイの電源をオフにした。
	第2年度	85 %	実施状況の説明等	・昼休憩時は照明を消灯している。 ・会議室を使用した後は照明とエアコンの0FFを啓発している。 ・会議室の照明0FF忘れ防止のために遠隔スイッチを導入。 ・新事務所移転に伴い、照明がLEDとなった。 ・エアコンの付いていない部屋へポータブルクーラーを導入。
	第3年度	%	実施状況の説明等	

選択対策の実施状況	項目		実施状況
	外部機関による省エネ診断		一部実施済
	エネルギー使用量の見える化（前年度比較）		実施済
その他の対策の実施状況	項目	具体的な取組内容	実施状況
	環境マネジメントシステムの導入	ISO14001に準拠したEMS及び小規模事業所に対するJTグリーンシステムの適用	実施済
	SBTやRE100等の国際的な気候変動イニシアティブなど脱炭素経営への取組	2020年12月に気候関連財務情報開示タスクフォース(TCFD)の提言への賛同	実施済
	廃棄物削減対策の実施	プラスチックを含む、製品及び包装に使用する材料の適正利用と適正処理	実施済
	森林の保全・緑化の推進	手入れが不足している森を一定期間借り受けて森づくりを支援する「JTの森」を、全国9か所で展開。また、仙台駅ペDESTリアンデッキへの花の植栽を実施。	実施済
	市が実施する環境関連事業への参画	エコにこゴールドマイスターの認定	実施済
	その他地球温暖化を防止する対策の実施	国際NGO、CDPを通じた環境等に関する情報の開示を行い、最高評価「Aリスト」に選定。また、気候変動分野におけるサプライヤー・エンゲージメント・リーダーにも選出。	実施済